

あっと つしま



臨床研修医

地域に選ばれる病院、
医師にも選ばれる病院を目指して

令和3年4月現在の在籍研修医

二年次：8人

一年次：9人

※写真は、現在の二年次が着任した際に撮影（R2.4）

当院の研修修了実績

平成15年10月

臨床研修病院として指定

平成16年度

研修医1人受入

・・・

令和2年度末累計研修修了者数

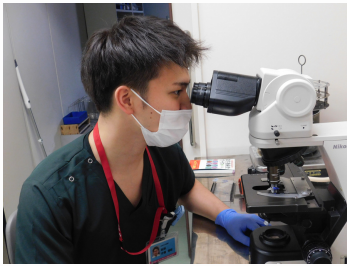
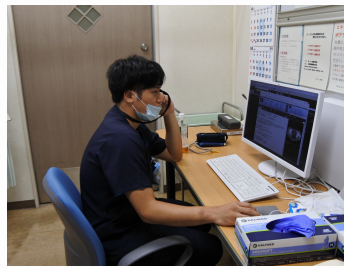
80人

「臨床研修病院」の役割

津島市民病院は厚生労働大臣の指定を受けた「臨床研修病院」です。

現在の医師臨床研修制度では、診療に従事しようとする医師が基本的な診療能力を身につけられるよう、大学病院または厚生労働大臣の指定する病院で2年間以上の臨床研修を受けることが義務付けられています。その研修中は「研修医」と呼ばれますが、学生ではなく、医学部を卒業後、国家試験に合格して医師免許を取得した「医師」です。

当院は海部地域における公的中核病院として、質の高い医療を地域住民に提供すること、医療人として社会に貢献できる人材を育成することを使命としています。



研修医も市民病院の チームの一員です

現在津島市民病院で勤務している研修医は、1年目が7人と2年目が8人、合わせて15人です。様々な診療科をローテーションしながら、毎日、外来から入院、そして退院後の外来と患者さんと接する中で、「チーム医療」の構成員である医師としての幅広い役割等の基本を学んでいます。研修医も患者さんの担当医として診療を行います。重要な治療経過の説明などは上級医とともに行いますが、担当医である以上、単独で簡単な病状説明をすることもあります。

また、平日夜間や休日の救急外来では上級医の指示や指導のもとで、まずは研修医が対応します。診断が難しい場合や重症の患者さんの場合などは、速やかに上級医が対応できる体制をとっています。

研修医が対応していると聞くと、不安を感じられる方もいるかと思います。しかし、研修医も上級医も医師であり、市民病院のチームの一員です。

基本的スキルの習得 のために

着任後、まずは市民病院について学びます。次に、医師としての基本的スキルを身につけるために日々の訓練が始まります。

当院は二次救急医療機関(※)であり、救急医療部長による救急症例検討会では様々な症例について学びます。また、患者さんの傷口をきれいに縫合するために、縫合訓練は欠かせません。それぞれの研修医が上級医のマンツーマン指導を受けられるのは津島市民病院ならではかもしれません。

※二次救急医療機関とは、24時間体制で救急患者を受け入れ、入院治療や手術対応をする病院のこと。

編集後記

研修医としての貴重な最初の2年間を過ごす病院として選ばれるために、説明会で当院や研修の特徴をPRしています。その後も後期研修が続きますが、いずれ津島市民病院の医師としてこの地域の医療を守るために働き続けてもらうことが、我々の願いです。

津島市民病院 広報委員会
2021年4月発行